



# 「田んぼダム」取組マニュアル



青森県農林水産部農村整備課

令和6年3月

## はじめに

全国各地で発生する記録的な豪雨や、それによってもたらされる甚大な被害。近年は、これらを耳にしない年を探す方が難しいのではないかとさえ思われます。

本県においても、令和3年8月に下北地域や上北地域で甚大な被害が発生し、翌年8月3日からの大雨では、各地で観測史上初となる豪雨が記録され、鱒ヶ沢町を流れる中村川が氾濫したほか、中泊町の中里川、つがる市の山田川が決壊し、周辺地域に大きな被害が発生しました。地球温暖化が進むと大雨の頻度や強度が増すといわれており、今後も水災害のリスクは増大こそすれ、減ることはないと認識せざるを得ません。

このような豪雨による洪水や浸水被害を防止・軽減するため、従来から進められている河川管理者主体の治水対策のみならず、流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害に対応する治水対策「流域治水」の取組を進めることが求められています。

その中において、流域に広がる水田に着目し、営農しながら取り組むことができ、比較的安価で迅速に実施できる「田んぼダム」の取組が注目され、全国的に広がりを見せています。

「田んぼダム」とは、小さな穴の空いた調整板などの器具を水田の排水口に取り付けて流出量を抑えることで、大雨の際に雨水を一時的に貯留し、時間をかけてゆっくりと下流に流し、周辺の農地・集落や下流域の浸水被害のリスク低減を図るもので、水稻の生育に影響を与えない範囲で、農業者の協力により行われる取組です。

本マニュアルは、「田んぼダム」に取り組む際の参考となるよう、「農村地域の雨水貯留に係る検討会」における議論・意見のほか、「田んぼダム」を実践している地域の自治体、農業者や土地改良区、専門的に取り組んでおられる学識経験者の知見等を踏まえ、その目的や効果、具体的な取組方法や導入に当たってのポイントをまとめたものです。

本マニュアルにより、「田んぼダム」の取組の円滑な導入や継続が図られるとともに、「田んぼダム」を通じて、地域の農業や防災・減災への理解が深まり、地域の持続性と協働力向上の一助になれば幸いです。

令和6年3月

青森県農林水産部農村整備課長 山本 貴則

## 目次

1 「流域治水」と「田んぼダム」	1
(1) 大雨による水害が増加	1
(2) 「流域治水」の取組	3
2 「田んぼダム」の概要	5
(1) 「田んぼダム」とは	5
(2) 「田んぼダム」の仕掛け	6
3 「田んぼダム」の営農への影響	7
(1) 水位の上昇	7
(2) 収量への影響	8
(3) 中干し等への影響	8
(4) 落水口の詰まり	8
4 「田んぼダム」の効果	9
(1) 最大流出量を抑制する効果（ピークカット効果）	9
(2) 浸水被害を軽減する効果	10
(3) 地域ぐるみで取り組むと効果が大きい	12
5 「田んぼダム」の実施	13
(1) 畦畔・落水口	13
(2) 流出量調整器具	14
(3) 流出量調整器具（機能分離型）の種類	16
(4) 合意形成	18
6 「田んぼダム」の支援制度	20
(1) 多面的機能支払交付金	20
(2) 農地耕作条件改善事業	22
(3) 農地整備事業等	22
7 参考文献	23
8 農村地域の雨水貯留に係る検討会	23
巻末資料	25
1 流出量調整器具（機能分離型）の種類	26
2 「田んぼダム」の支援制度	34

## 【表紙写真】（撮影：青森県）

左上：降雨時の排水路（令和4年8月3日 蓬田村）

右上：通常時の排水路（令和4年8月9日 蓬田村、左上の写真と同じ場所）

左下：流出量調整器具 軽量落水柵

右下：降雨時の阿弥陀川下流部（令和4年8月3日 蓬田村）

## 1 「流域治水」と「田んぼダム」

### (1) 大雨による水害が増加

近年、全国各地で豪雨災害が頻発しています。

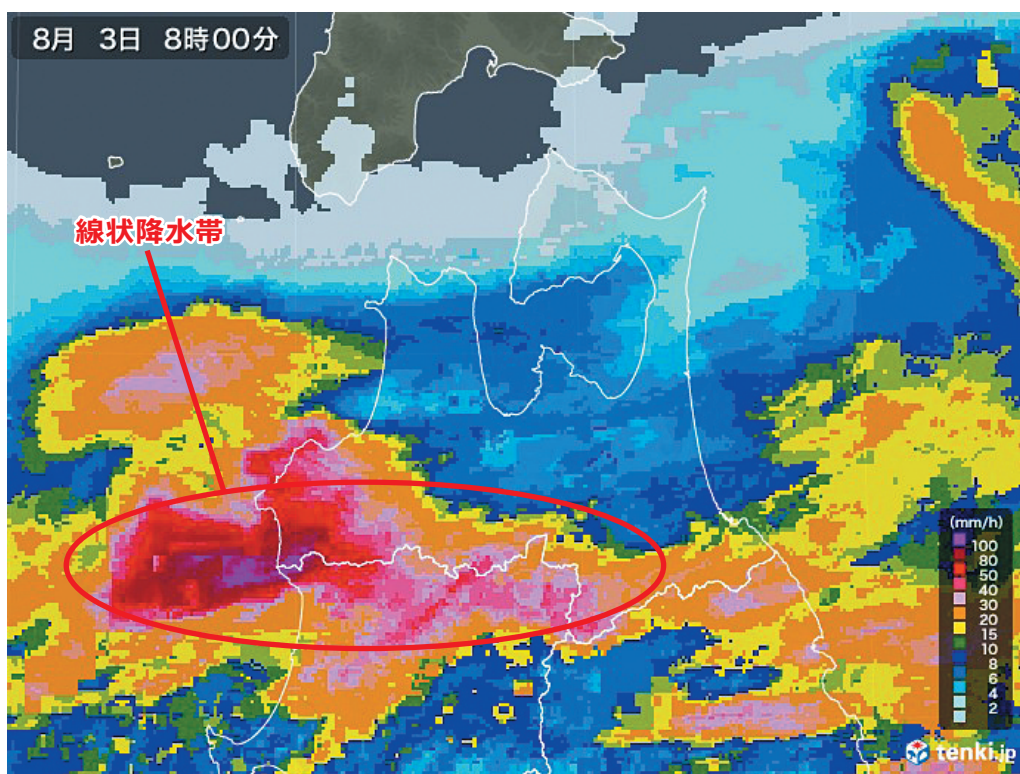
令和4年8月には、前線の停滞の影響で大気の状態が非常に不安定になり、青森県では初となる線状降水帯の発生が津軽地方で確認されました。鯉ヶ沢町、深浦町では、記録的短時間大雨情報が発表されるなど、各地で降水量が観測史上1位を更新し記録的な大雨となりました。

この大雨により、県内では、河川の氾濫、土砂災害や浸水害が多数発生し、多くの家屋や公共施設、農地・農業用施設が被害を受けました。

地球温暖化が進むと大雨の頻度の増加や強度の増大が起きるといわれており、今後もこのような豪雨被害が発生する可能性があり、災害に備え準備や対策を着実にしておくことが求められています。

頻発化・激甚化する災害に備え、準備や対策を着実にしておくことが求められています。

令和4年8月3日の雨雲レーダー



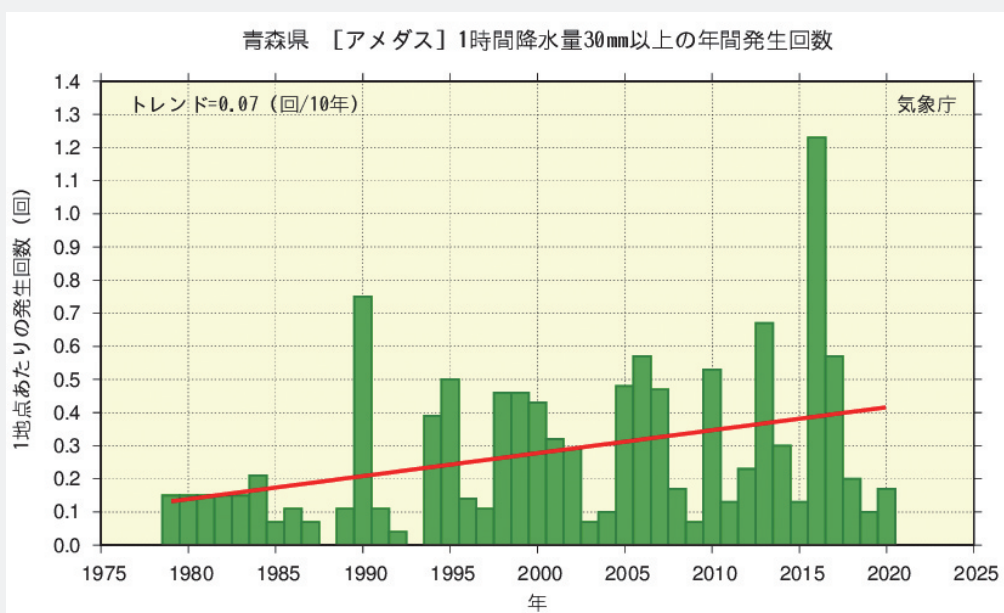
出典：「青森県の雨雲レーダー（2022年08月03日）」(tenki.jp)  
(<https://tenki.jp/past/2022/08/03/radar/2/5/>) を加工して作成

令和4年8月3日豪雨 中里川の堤防決壊による農地被害(中泊町)



出典:青森県

青森県内の1時間降水量30mm以上の発生回数については増加傾向が現れており、日降水量100mm以上の発生回数は増加しているとみられる。



出典:「青森県[アメダス]1時間降水量30mm以上の年間発生回数」(仙台管区气象台)  
<https://www.data.jma.go.jp/sendai/knowledge/climate/change/aomori.html>

## (2) 「流域治水」の取組

「流域治水」は、河川の管理者が主体となって行う河川整備等の従来の治水対策に加え、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、国、都道府県・市町村、企業・住民等のあらゆる関係者が一体となって、①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を総合的かつ多層的に取り組むものです。

農地・農業水利施設における取組としては、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、「田んぼダム」の取組、ため池、排水施設及び農業用ダムの事前放流などがあげられます。

**「流域治水」は、流域のあらゆる関係者が一体となって対策に取り組むものです。**

治水ダムや河川堤防といった施設整備には多大な時間と費用がかかる一方で、「田んぼダム」の取組や農業用ため池の活用は比較的安価で迅速に実施できるという特徴があり、各地で取組が広がっています。

**「田んぼダム」は比較的安価で迅速に実施できることから、各地で取組が広がっています。**

### 「流域治水」のイメージ



出典：「流域治水の推進」（国土交通省）

(<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html>)

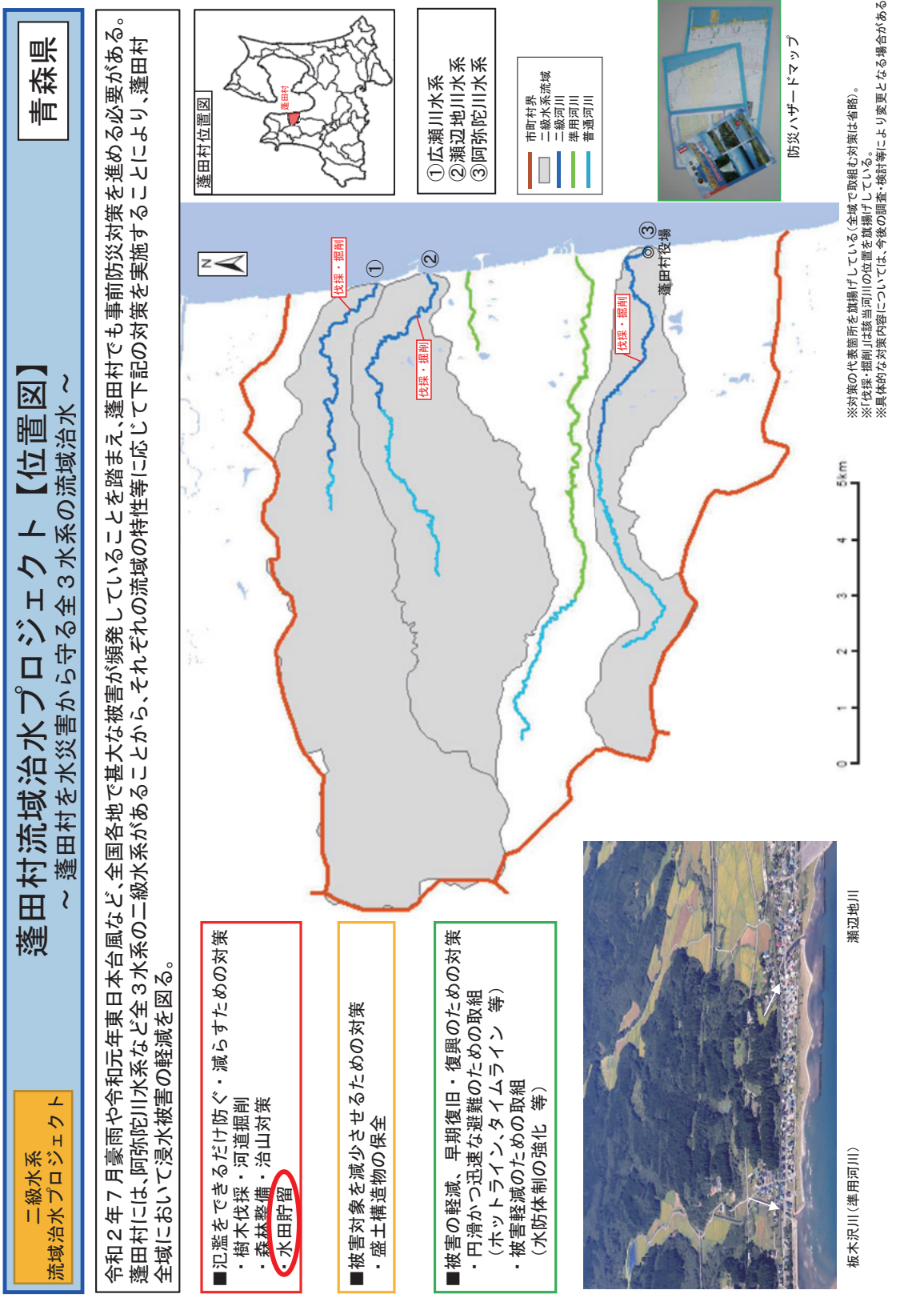
青森県内では、令和3年3月に国直轄河川を有する岩木川、馬淵川、高瀬川の一級水系3水系において流域治水プロジェクトが策定され、その後、令和4年3月までに県が管理する全ての二級水系(79水系)において流域治水プロジェクトを策定し、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速するとともに、プロジェクトの内容やあらゆる関係者との協働体制の更なる充実を図っているところです。

出典：「二級水系「流域治水プロジェクト」」（青森県）

([https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/ryuuiki\\_chisui\\_project.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/ryuuiki_chisui_project.html))

流域治水プロジェクトの例(二級水系)

県内二級水系の流域治水プロジェクトは、青森県庁ウェブサイト  
([https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/ryuuiiki\\_chisui\\_project.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/ryuuiiki_chisui_project.html))  
で見ることができます。



出典:「蓬田村流域治水プロジェクト」(青森県)  
([https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/files/ryuuikichisui\\_project\\_yomogita\\_220330.pdf](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/files/ryuuikichisui_project_yomogita_220330.pdf))を加工して作成

## 2 「田んぼダム」の概要

### (1) 「田んぼダム」とは

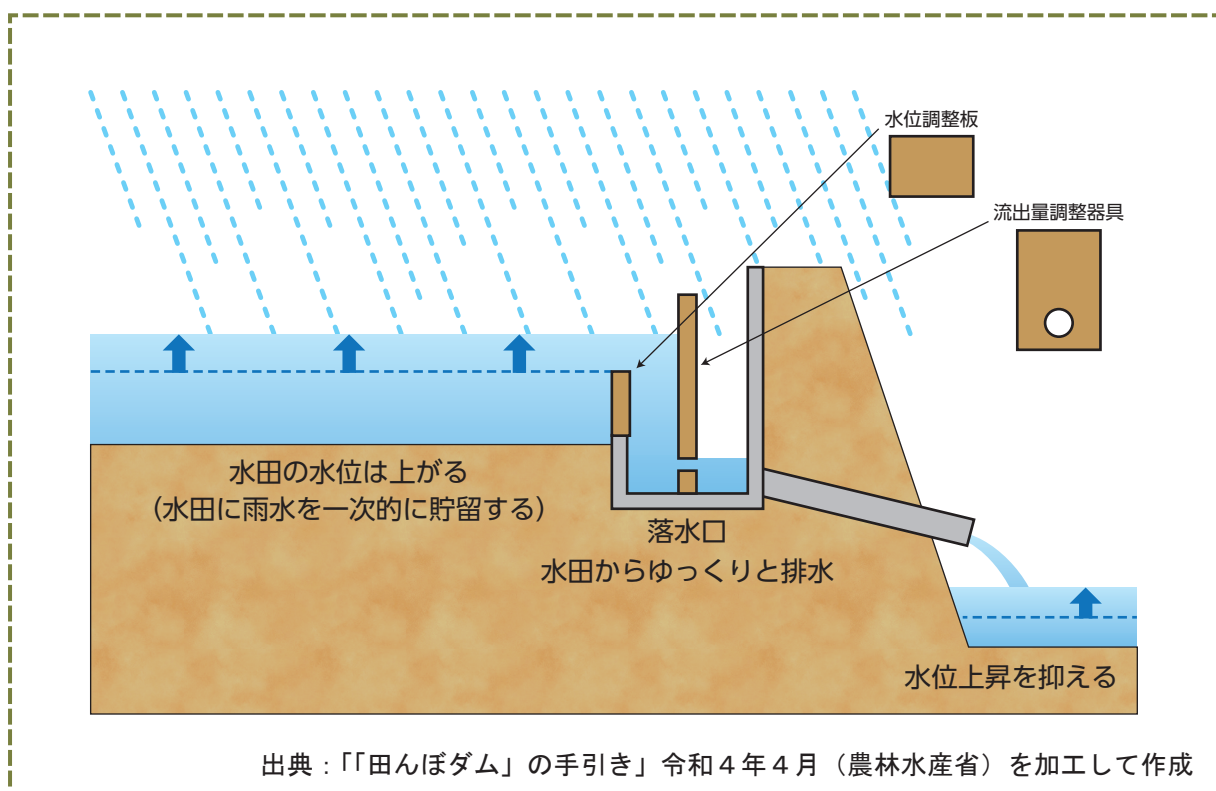
「田んぼダム」とは、水田の落水口に「流出量調整器具」を設置して大雨時に雨水を一時的に貯留し、時間をかけてゆっくりと下流に流すことで、排水路や河川の水位の上昇を抑え、実施地域やその下流域の洪水被害を防止・軽減させるものです。

特徴として、次のようなものが挙げられます。

- ・水田がもともと持っている雨水貯留機能を有効活用。
- ・設置が比較的簡単で、コストもあまりかからない。
- ・作物の生産に影響を与えない範囲で実施する。
- ・取組面積が大きくなるほど、効果が発現する。

「田んぼダム」とは、水田がもともと持っている雨水貯留機能を有効活用し、大雨が降った際に、一時的に水田に雨水を貯め、時間をかけてゆっくりと下流に流すことで排水路や河川の水位が急に上昇するのを抑え、実施地域やその下流域の洪水被害を防止・軽減させる取組です。

排水路や河川から水田に水を引き入れて貯めるものではありません。



大豆や小麦など湛水の影響を大きく受ける作物を作付けする場合は、降った雨を速やかに排水する必要があるため、「田んぼダム」を実施することはできません。



## (2) 「田んぼダム」の仕掛け

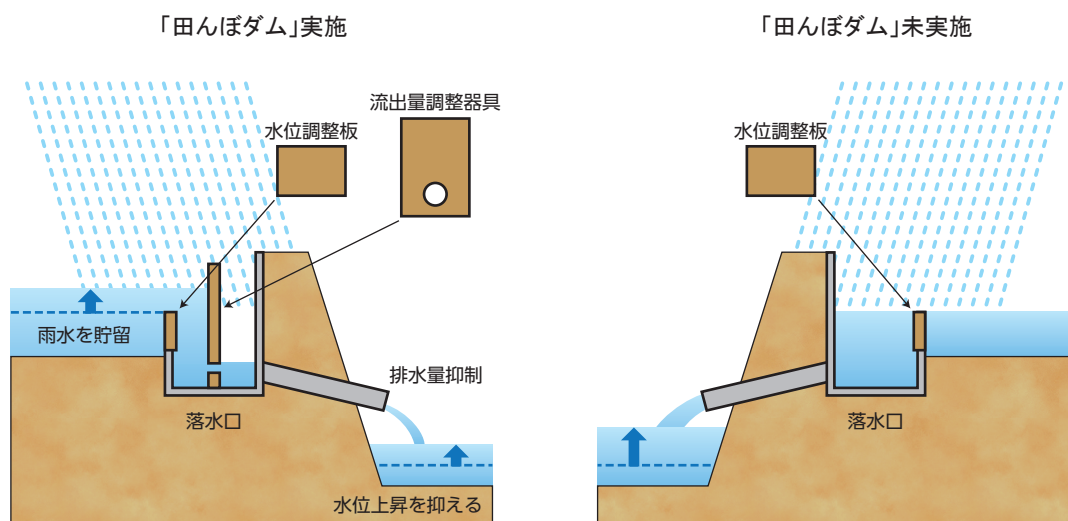
「田んぼダム」未実施の場合は、雨水は落水口をとおり、すぐに排水路へ排水されます。

「田んぼダム」を実施する場合は、水田の落水口に、流出量を抑制するための小さな穴の開いた調整板などの流出量調整器具を取り付けます。流出量調整器具の小さな穴からは一定量の雨水しか流出しないので、大雨が降った際、雨水は水田に一時的に貯留されます。

このように、「田んぼダム」を実施することで、未実施の場合に比べ、水田に降った雨水は時間をかけてゆっくりと排水され、排水路や河川の水位の上昇を抑えることで、排水路や河川から溢れる水の量や範囲を抑制することができます。

なお、通常の雨では、雨水は流出量調整器具の小さな穴から排水されるので、水田に貯留されません。

水田の落水口に流出量を抑制するための小さな穴の開いた調整板などの流出量調整器具を取り付けることで、一時的に水田に雨水を貯め、貯留した雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、排水路や河川の水位が急に上昇するのを抑えます。



出典：「「田んぼダム」の手引き」令和4年4月（農林水産省）を加工して作成



「田んぼダム」実施 水深 18cm  
(令和4年8月3日 蓬田村)



「田んぼダム」未実施 水深 10cm  
(令和4年8月3日 蓬田村)

### 3 「田んぼダム」の営農への影響

「田んぼダム」は水稻の生産に影響を与えない範囲で、農業者の協力により実施する取組です。

#### (1) 水位の上昇

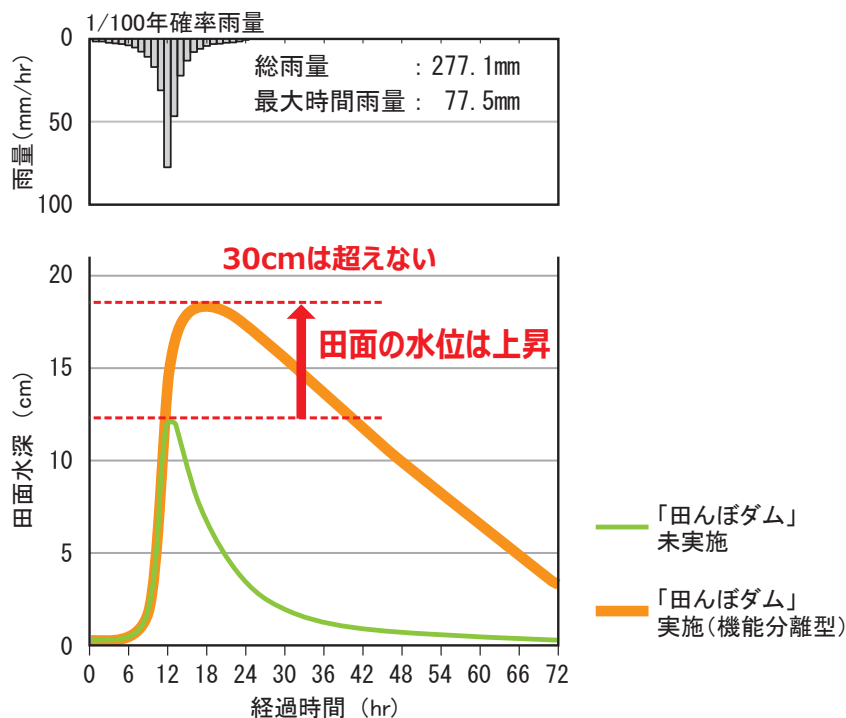
「田んぼダム」に取り組むと、大雨が降った際、田面の水位は通常より上昇します。しかし、流出量調整器具の小さな穴からは時間雨量50mmに相当する流量を排水することが可能なので、畦畔（30cm）を超える水位にはなりません。

また、国が「田んぼダム」を実施している地区で行ったアンケート調査においても、湛水が畦畔を超え、畦畔が崩れるような被害が生じたという回答はありませんでした。

なお、機能分離型の流出量調整器具（※P14参照）を使用する場合は、通常の雨で水位は上昇しません。

大雨が降った際、田面の水位は通常より上昇しますが、畦畔(30cm)を超える水位にはなりません。

シミュレーション結果によれば、1/100年確率雨量（最大時間雨量 77.5mm、総雨量 277.1mm）であっても、田面水深は 20cm を超えていないことから、十分な高さがある堅固な畦畔を整備していれば、畦畔を超えるような貯留には至らず、畦畔からの越流は生じないことが分かります。



出典：「「田んぼダム」の手引き」令和4年4月（農林水産省）を加工して作成

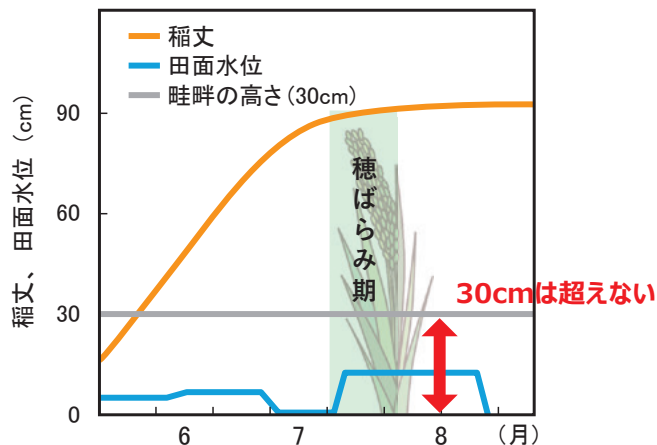
畦畔の高さを超える湛水が生じる場合は、水田に降った雨によって湛水しているのではなく、地域の排水能力を超えた降雨によって排水路や河川などから水が溢れて水田に逆流していることが原因であり、「田んぼダム」の取組の実施と関係なく発生する現象です。

出典：「「田んぼダム」の手引き」令和4年4月（農林水産省）

## (2) 収量への影響

稲が水に浸かることによる減収の被害は、穂ばらみ期において最も発生しやすいことが明らかになっています。しかし、穂ばらみ期の稲丈は畦畔(30cm)以上に達していることから、「田んぼダム」に取り組むことによって水位が上昇したとしても、減収は発生しないと考えられます。

水位の上昇による減収は発生しないと考えられます。



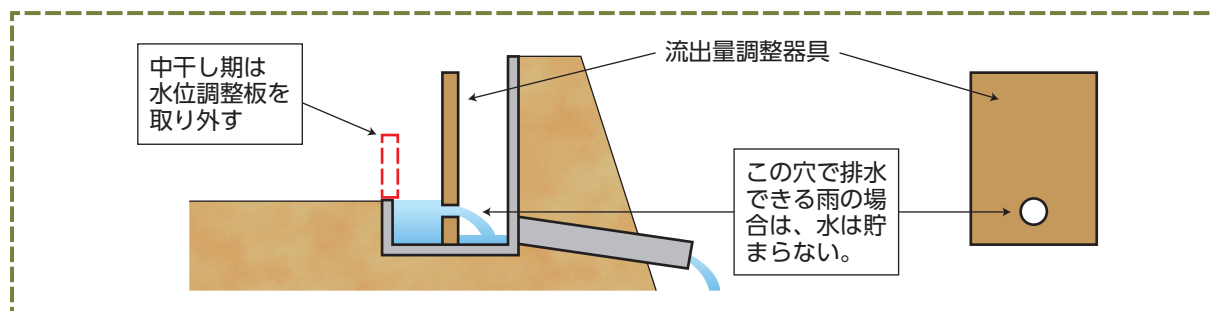
出典：弘前大学 丸居篤教授 資料を加工して作成

## (3) 中干し等への影響

中干し期や収穫期などに水田に水が貯まることを不安に思う農業者もおられると思います。

流出量調整器具の種類によっては、通常の雨でも水田に雨水が貯まりやすくなることもありますが、機能分離型の流出量調整器具を使用する場合は、通常の雨では、そのまま落水口から排水されるため、水田内に雨水は貯まりません。

通常の雨では、そのまま落水口から排水され、水田内に雨水は貯まりません。



## (4) 落水口の詰まり

流出量調整器具を使用することによって落水口の穴が小さくなるため、時期によってワラコなどが詰まりやすくなります。

なお、コーン式の流出量調整器具は、渦を巻いて水が流れ落ちるので、ゴミが詰まりにくいという特徴があります。(※P17参照)

特に春先は、落水口の詰まりがないか点検しましょう。

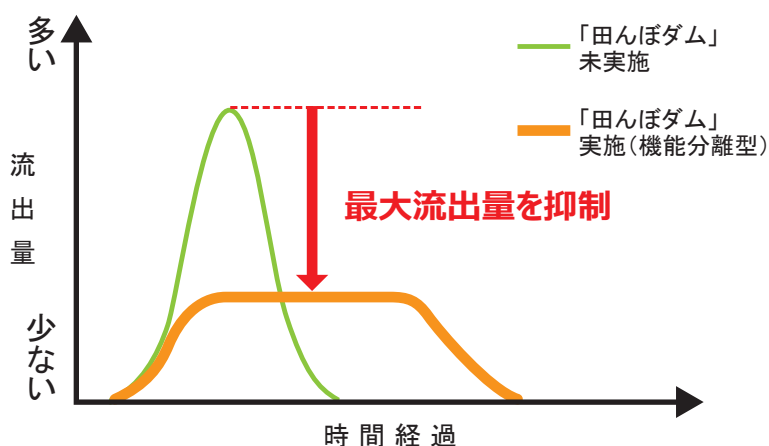
## 4 「田んぼダム」の効果

「田んぼダム」は、河川の流下能力や排水路、排水機場の排水能力を超える降雨があった場合でも、排水路や河川の水位の上昇を抑え（遅れさせ）ることができるため、下流の農地、住宅等の浸水被害を防止・軽減することが可能です。

### （1）最大流出量を抑制する効果（ピークカット効果）

「田んぼダム」は、水田の落水口に「流出量調整器具」を取り付け、水田に降った雨を少量で時間をかけてゆっくりと排水することで、水田から排水される最大流出量を抑制する効果（ピークカット効果）があります。

#### ピークカット効果のイメージ



出典：「「田んぼダム」の手引き」令和4年4月（農林水産省）を加工して作成



「田んぼダム」実施 流出量が少ない  
(令和4年8月9日 蓬田村)



「田んぼダム」未実施 流出量が多い  
(令和4年8月9日 蓬田村)

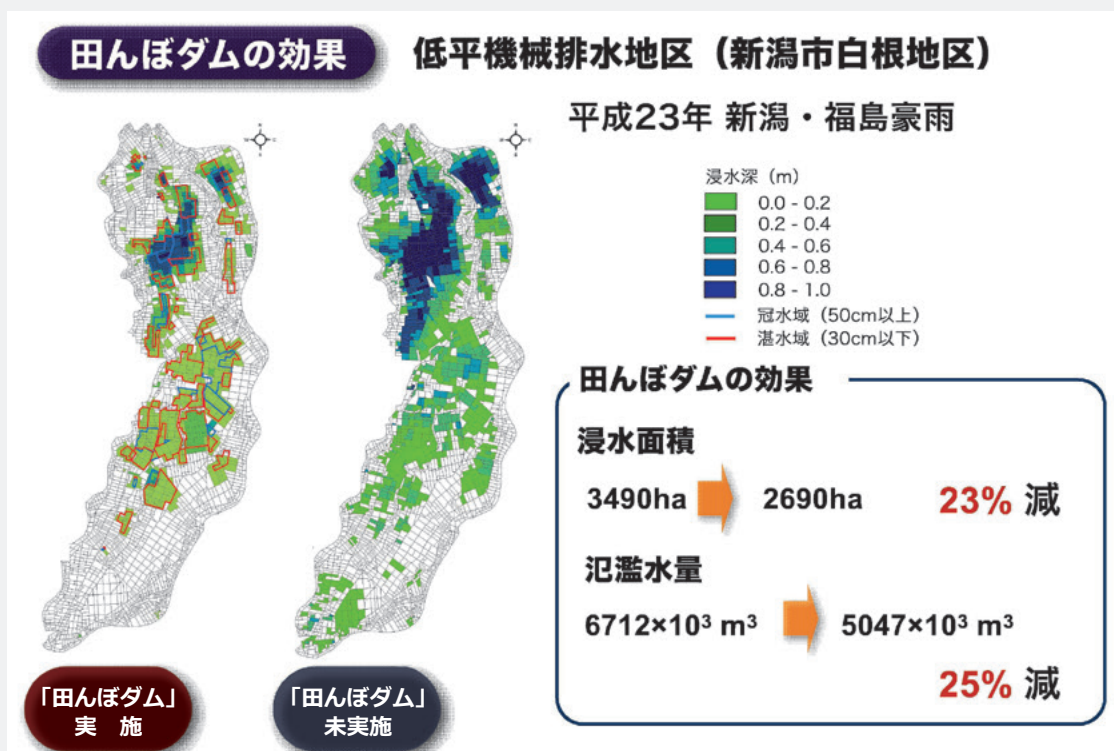
## (2) 浸水被害を軽減する効果

水田に降った雨水は、排水路に排水されます。排水路は合流を繰り返し幹線排水路に合流しやがて河川へ排水されます。河川も合流を繰り返し大河川となり最後は海へ注ぎます。

「田んぼダム」を実施し水田からの雨水の流出量を抑制することで、下流域の排水路や河川の水位上昇を抑え、排水路等から溢れる水の量や範囲を抑制することができるため、下流の農地、住宅等の浸水被害を軽減することが可能です。

また、「田んぼダム」に取り組んだ地域の農地においても、排水路の水位上昇が抑えられることから、小麦や大豆等の湿害に弱い作物の被害を軽減する効果が考えられます。

「田んぼダム」に取り組むことで、浸水面積が減少します。



出典:新潟大学 吉川夏樹教授 研修会資料を加工して作成

## 河川流出量のシミュレーション

県では、蓬田村阿弥陀川流域で「田んぼダム」に取り組んだ場合の河川流出量のシミュレーションを行いました。

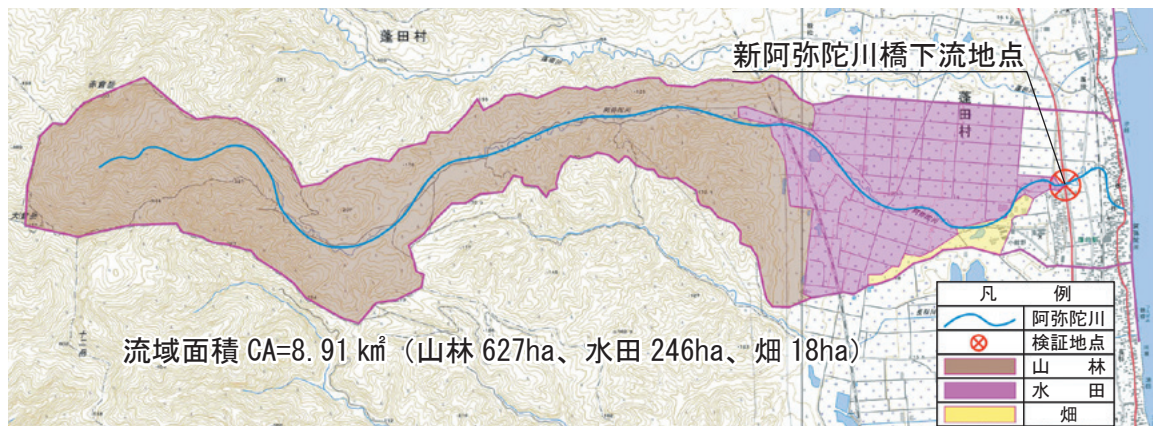
集水域内すべての水田で「田んぼダム」に取り組み、50年に1回程度の降雨があった場合、新阿弥陀川橋下流地点では、最大流量を12%カットし、水位上昇が18cm抑制される結果となりました。

「田んぼダム」の取組のみで、全ての豪雨災害を防ぐことはできませんが、取り組むことで、

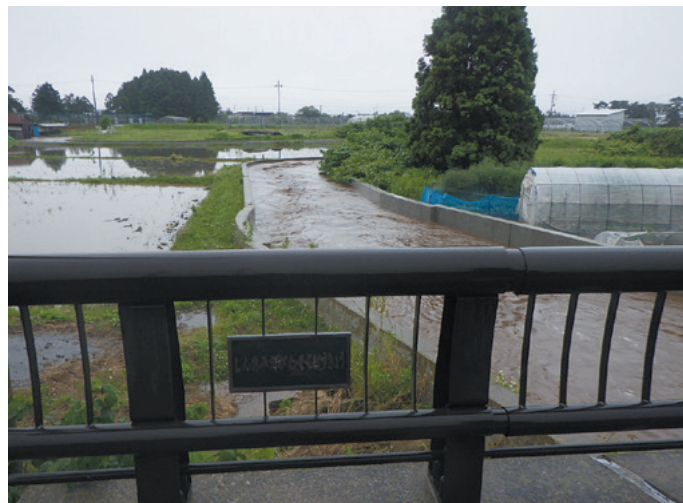
「川の水がギリギリ堤防を越えなくてよかった」

「思ったよりも浸水被害が少なくてすんだ」

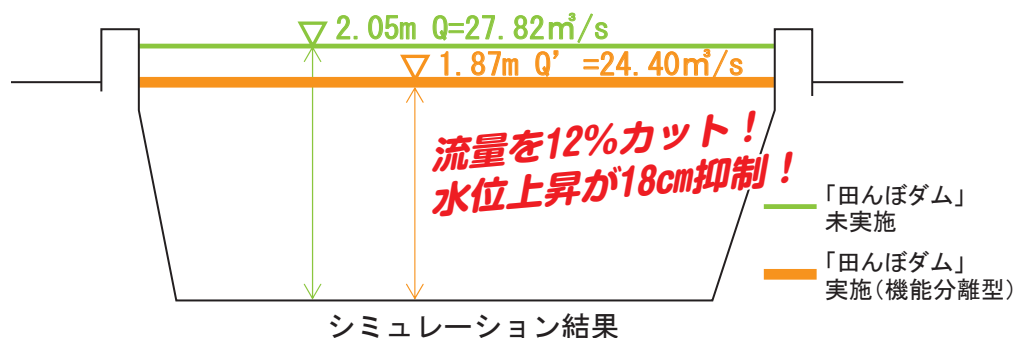
そんな声が聞けるかもしれません。



位置図



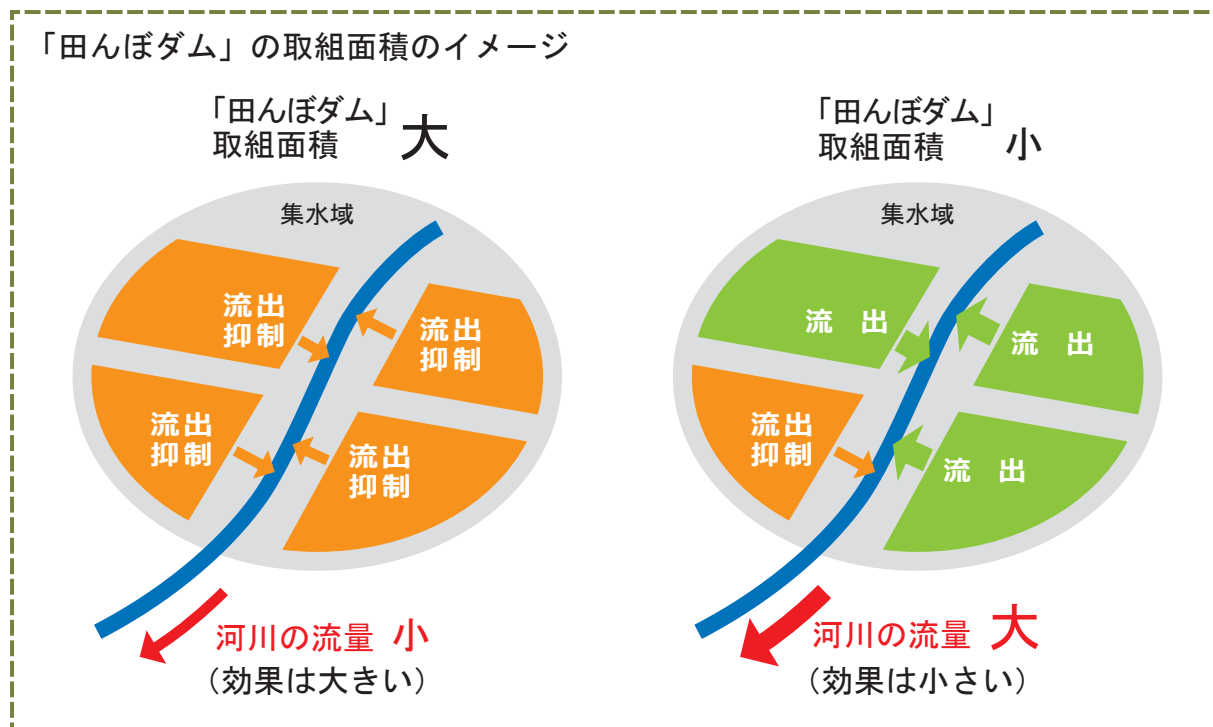
新阿弥陀川橋下流地点の過去の氾濫状況（令和2年6月27日 蓬田村提供）



### (3) 地域ぐるみで取り組むと効果が大きい

集水域に占める「田んぼダム」の取組面積の割合が小さければ、山林や都市部など水田以外の集水域に降った雨の影響が大きくなることから、取組の影響は小さくなりますが、集水域に占める「田んぼダム」の取組面積の割合が大きければ、排水路や河川の流量への影響も大きくなり、「田んぼダム」の効果は大きくなります。

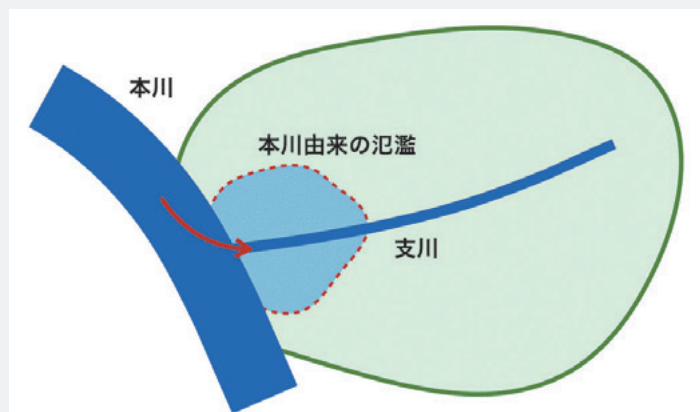
集水域全体で取組を検討し、少しずつでも効果を積み上げていくことが重要です。



一方で、取組に適さない地域が存在することも考慮する必要があります。

本川からの逆流による氾濫が生じる地域では、「田んぼダム」により支川の流量や水位上昇を抑制したとしても、「田んぼダム」の効果は限定的となります。このような地域では、逆流を防止するゲートの整備など、「田んぼダム」以外の治水対策が必要です。

本川の逆流(外水由来の氾濫)のイメージ



出典:新潟大学 吉川夏樹教授 研修会資料

## 5 「田んぼダム」の実施

### (1) 畦畔・落水口

十分な高さ(30cm程度)のある畦畔と貯留した雨水を速やかに排水するための落水口が必要です。

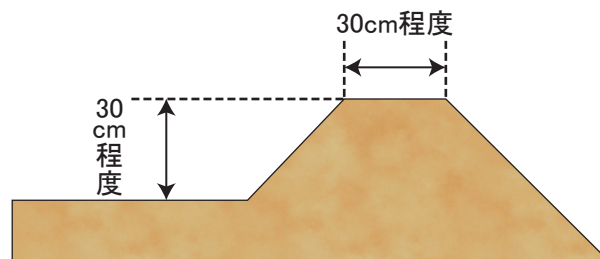
畦畔の高さが低いと貯留できる水量が少なくなり、丈夫でなければ漏水し、畦畔が損傷するおそれがあります。

畦畔がやせている場合やネズミによる穴がある場合は、幅30cm程度、高さ30cm程度を目安に補修や畦塗りを行ないましょう。

畦畔の雑草は除草剤を使って根絶やしにすると、崩れやすくなり、水漏れの原因になるとされていますので、草刈り機で刈り払いをしましょう。

「田んぼダム」の実施により、貯留した雨水を速やかに排水できる落水口が必要です。

雨水を速やかに排水することで、大型農業機械を活用した農作業等が可能になりますので、落水口がない場合には設置を検討しましょう。



畦畔塗り

出典：山形県塩野地域保全会提供



コンクリート製落水口



## (2) 流出量調整器具

「田んぼダム」の取組が注目され、全国に広がって行くにしたいが、様々な種類の流出量調整器具が開発されています。

これらの流出量調整器具は大きく分けて「機能一体型」と「機能分離型」に分けられます。

「機能一体型」は、導入が容易である一方、通常の雨でも雨水を貯留するため水田を乾かす必要がある時期に営農への影響があるというデメリットがあり、「機能分離型」では通常の雨では雨水を貯留せず、大雨の時に安定的に貯留効果を発揮する特徴があります。

それぞれに、メリット、デメリットがありますが、通常の雨では雨水を貯留せず、中干し期や稲刈り前などの水田を乾かす時期に設置していても、営農への影響を小さくすることができる、「機能分離型」の流出量調整器具を選びましょう。

**営農への影響が小さい「機能分離型」の流出量調整器具を選定しましょう。**

流出量調整器具は、降雨が予想される度に設置するのではなく、設置したままにしておくことが基本です。これにより、大雨の際には常に効果が発揮されるとともに、設置及び管理の労力を削減することができます。農業者に手間を要求することのない仕組みが普及へのカギとなります。

「田んぼダム」の効果が発揮されるように、流出量調整器具が正しく設置されているか、定期的に点検する必要があります。

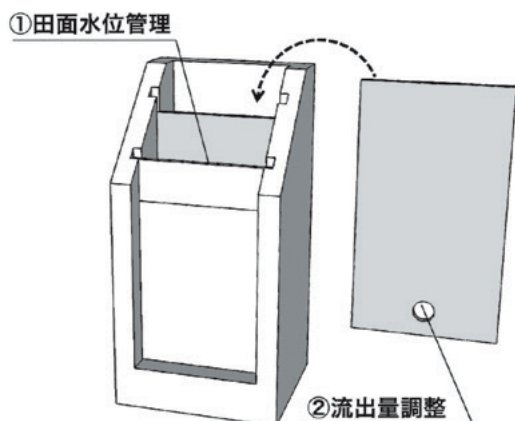
「田んぼダム」の実施の有無に関わらず、激しい雨が降り始めたら、危険ですので農地に近づかないようにしましょう。

**流出量調整器具(機能分離型)は設置したままにしておくことが基本です。**

### 流出量調整器具の分類

#### 機能分離型

①と②が別々の場所

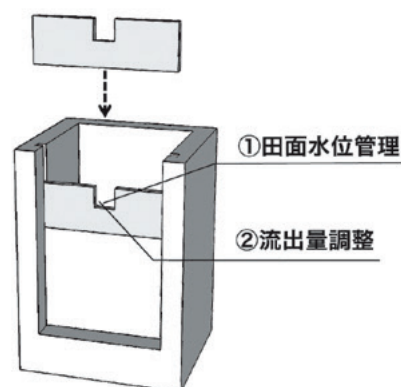


#### 機能

- ① 日常の水管理機能
- ② 田んぼダムの流出量調整機能

#### 機能一体型

①と②が一緒



出典：新潟大学 吉川夏樹教授 研修会資料

### 流出量調整器具の種類

#### ①機能分離型

水田の水管理を行う通常の堰板と別に流出量を調整する板などの流出量調整器具を設置するもので、以下の特徴があります。

- ・小規模な降雨では雨水を貯留せず、大規模な降雨で貯留する
- ・機能一体型よりも短時間で排水できる
- ・板を2枚設置できる排水柵又は専用の器具が必要である
- ・小規模な降雨では雨水を貯留しないため、中干し期や稲刈り前などの水田を乾かす必要がある時期に流出量調整器具を設置していても、影響を小さくすることができる

#### ②機能一体型

水田の水管理を行う通常の堰板が流出量を調整する機能も持つもので、以下の特徴があります。

- ・小規模な雨量から雨水を貯留する
- ・機能分離型よりも排水に時間がかかる
- ・通常の排水柵に設置できる
- ・小規模な降雨でも雨水を貯留するため、中干し期や稲刈り前などの水田を乾かす必要がある時期などに、営農への影響が想定される場合には、一時的に堰板を外すことも想定される

出典:「「田んぼダム」の手引き」令和4年4月(農林水産省)

大豆や小麦などの湛水の影響を大きく受ける作物を作付けする場合は、降った雨を速やかに排水する必要があるので、「田んぼダム」を実施することはできません。

### (3) 流出量調整器具（機能分離型）の種類

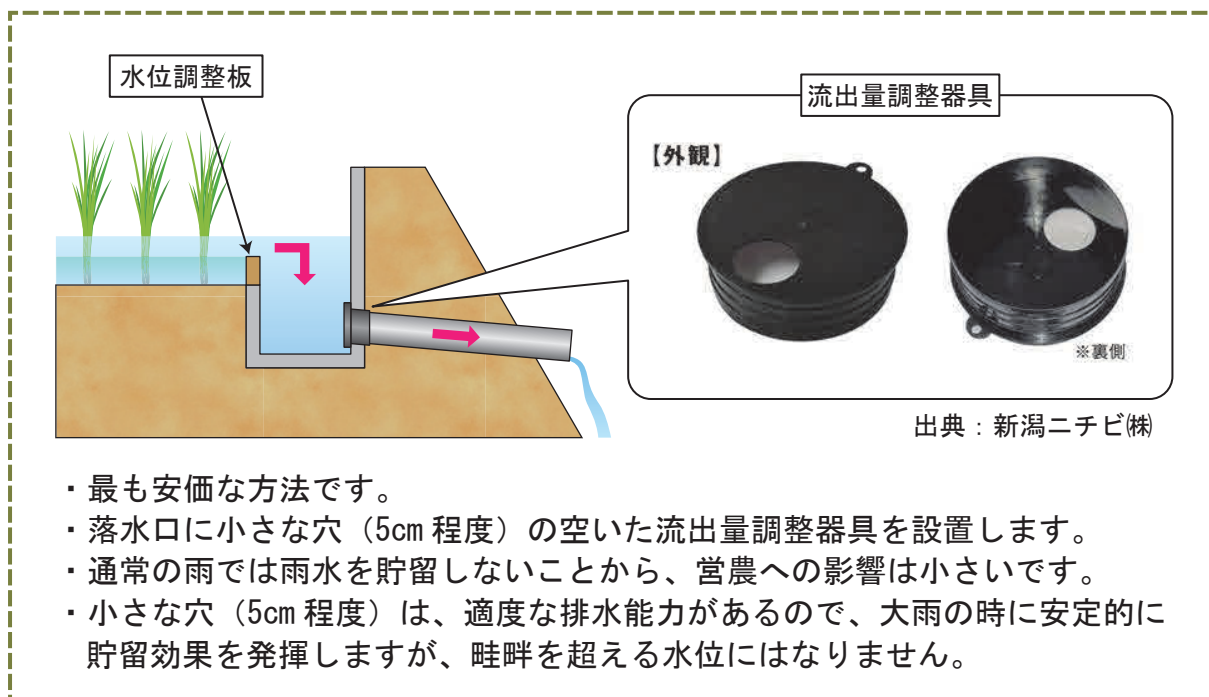
機能分離型の流出量調整器具を、次の3つのタイプに分類しました。

	タイプ	概要
ア	キャップ式	落水口の塩ビ管等に、小さな穴(5 cm程度)の空いた流出量調整器具を被せる(キャップする)もの。
イ	立板式	水位調整板の奥(排水路側)に、小さな穴(5 cm程度)の空いた板状の流出量調整器具を設置するもの。
ウ	コーン式	ドレーン管等に、下部に小さな穴(5 cm程度)の空いたコーン状の流出量調整器具を設置するもの。

※製品の概要は巻末資料に掲載

#### ア キャップ式

小さな穴（直径5 cm程度）の空いた流出量調整器具を落水口の塩ビ管等に被せるタイプです。



## イ 立板式

落水口に縦溝が2本切られ、この溝に水位調整用の板と流出量調整器具を取り付けるタイプです。なお、1つの溝に水位調整板といっしょに差し込める、縁が薄いロート型の流出量調整器具や、溝がなくても自立する構造の流出量調整器具もあります。

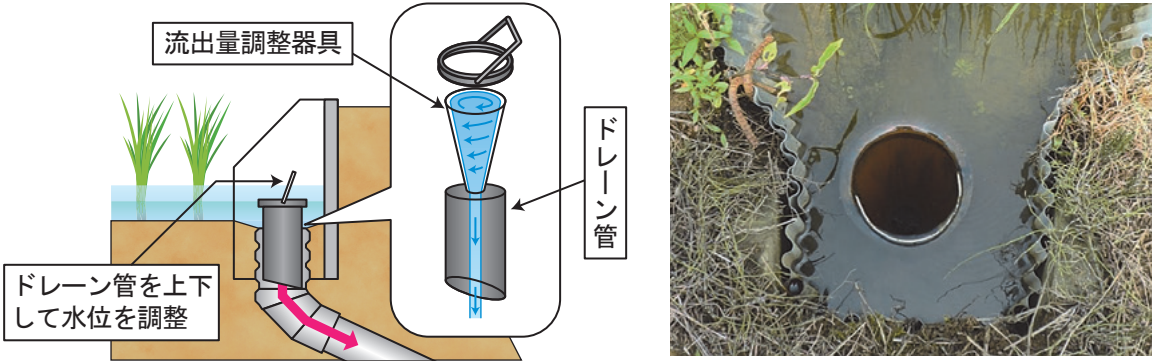


出典：新潟県

- ・水位調整板の奥（排水路側）に小さな穴（5cm程度）の空いた板状の流出量調整器具を設置します。
- ・通常の水管理用の水位調整板とは別に流出量を調整する板を利用するため、基本的には溝が2つある落水口が必要です。
- ・通常の雨では雨水を貯留しないことから、営農への影響は小さいです。
- ・小さな穴（5cm程度）は、適度な排水能力があるので、大雨の時に安定的に貯留効果を発揮しますが、畦畔を超える水位にはなりません。
- ・流出量調整器具の高さで貯留水位が設定されます。
- ・板材（合板、アクリル板）を用いて、自作することが可能です。

## ウ コーン式

ドレーン管等にコーン状に絞られた流出量調整器具を取り付けるタイプです。



出典：新潟大学 吉川夏樹教授 研修会資料

- ・水管理を円筒状のドレーン管等で行っている場合に、下部に小さな穴（5cm程度）の空いたコーン状の流出量調整器具を設置します。
- ・通常の雨では雨水を貯留しないことから、営農への影響は小さいです。
- ・コーン先端部の小さな穴（5cm程度）は、適度な排水能力があるので、大雨の時に安定的に貯留効果を発揮しますが、畦畔を超える水位にはなりません。
- ・流出量調整器具の設置の有無による外見に変化がないので、取組の負担感が少ないとされています。
- ・渦を巻いて水が流れ落ちるので、ゴミが詰まりにくいとされています。

#### (4) 合意形成

「田んぼダム」は地域ぐるみで取り組むと大きな効果を発揮します。

「田んぼダム」に取り組む場合には、行政機関を中心に、農業者や地域住民、関係機関と話し合いながら、地域全体の取組として合意形成を図っていくことが重要です。

まず、目的について話し合います。集落内の家屋や農地の浸水被害防止、転作作物の冠水防止、排水路の能力不足対策など、地域に応じた目的を明確にすることで、農業者のほか、地域住民も含めた地域全体の理解促進につながります。

また、費用負担についても事前に検討する必要があります。流出量調整器具の確保や、落水口や畦畔の補修・補強、毎年の点検や管理など、それぞれに費用が生じます。一部の方に過度な負担が生じることがないように配慮が必要です。

「田んぼダム」の取組は、継続することが大切です。10～20年に1度の水害に対応するためにも、農業者に手間をかけさせない、通常の営農の中で効果が得られるような装置を導入することがカギとなります。

**地域で「田んぼダム」の目的を明確にし、農業者のみなさんのほか、地域の方々も含めて目的を共有し、理解を促進しましょう。**

## 新潟県見附市の取組事例

新潟県見附市は、たびたび水害の被害を受けていたことから、平成22年から「田んぼダム」を推進しています。現在の取組面積は、1,200haと大規模に展開し、導入後の実施率が9割を超える成功事例として紹介されています。

「田んぼダム」の導入に尽力された、刈谷田川土地改良区の河村理事長から当時の様子をお聞きしました。

もともと「田んぼダム」がよい取組であることは知っていたが、見附市から「田んぼダムやっていただきたい」という話があったとき、農家にとって何のメリットもない取組について、組合員約1,000名の合意を得ることは大変難しく、無理だと思った。

しかし、

「我々農家の要望で土地改良事業を実施する際には、市に助けてもらっている」のだから、今回は市に協力しようと何度も呼びかけました。

夜に、農家を十数件訪ね、「互助」という言葉を使い、説得に当たりました。

「下流域で大豆を転作している農家さんが安心して作れるように」、

「市街地に住む同じ見附市民が洪水に悩んでいる」、

「下流部の人のために、上流部の我々が協力して田んぼダムをやろうよ」と。

ただそれだけを一生懸命に伝え合意を得ました。



写真の出典：「見附市田んぼダム事業」（見附市）

(<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/soshiki/22/3201.html>)

## 新潟・福島豪雨 シミュレーション結果



田んぼダム未実施



田んぼダム100%実施

出典：「新潟大学：平成23年度田んぼダム普及実証流出調査解析業務報告書 -第5章 貝喰川流域の田んぼダムの効果検証-」（2012）」

## 6 「田んぼダム」の支援制度

「田んぼダム」の効果を発揮するには、十分な高さ（30cm程度）のある畦畔や貯留した雨水を速やかに排水するための落水口などが整備され、適切に維持管理されることが重要です。

このような畦畔の整備や補強、流出量調整器具の購入等を行う場合は、多面的機能支払交付金や農地耕作条件改善事業等を活用することができます。制度を活用することにより、「田んぼダム」に取り組みやすくなります。

### （1）多面的機能支払交付金

多面的機能支払交付金は、“農地維持支払交付金”と“資源向上支払交付金”から構成されます。

「田んぼダム」の実施に必要な畦塗り等の畦畔の補強は、“資源向上支払交付金”の対象となります。資源向上支払の交付を受ける田の面積の1/2以上で「田んぼダム」に取り組む場合、10a当たり400円（6年目からは10a当たり300円）の加算措置があります。

交付金は、流出量調整器具の購入、製作、設置や維持管理（畦畔の補修や落水口の点検・見回りなど）に使うことができます。

制度を活用するためには、要件を満たす必要があるため、土地改良区、市町村、県等の担当に御相談ください。

**多面的機能支払交付金は、流出量調整器具の購入、製作、設置や維持管理(畦畔の補修や落水口の点検・見回りなど)に使うことができます。**

**「田んぼダム」に取り組む場合、交付単価の加算(400円/10a)が行われます。**

資源向上支払交付金（地域資源の質的向上を図る共同活動）のうち「農村環境保全活動」及び「多面的機能の増進を図る活動」で「田んぼダム」の取組に向けた活動を支援します。

#### 農村環境保全活動

水田貯留機能増進・地下水かん養

**48** 水田の貯留機能向上活動

- ・大雨時の水田からの排水を調節するため、水田の落水口に排水調整板の設置等を行うこと。
- ・大雨時の水田での貯留効果を向上させるため、畦畔の嵩上げ等を行うこと。ただし、前述の排水調節の活動を行う場合に限る。
- ・大雨時に、水田への湛水による一時貯留やため池等の空容量を活用し、貯留機能を向上させるため、ゲート等の操作や排水ポンプの稼働を行うこと。

#### 多面的機能の増進を図る活動

**55** 防災・減災力の強化

- ・水田やため池の雨水貯留機能の活用、危険ため池の管理体制の整備・強化、災害時における応急体制の整備等、地域が一体となった防災・減災力の強化のための活動を行うこと。

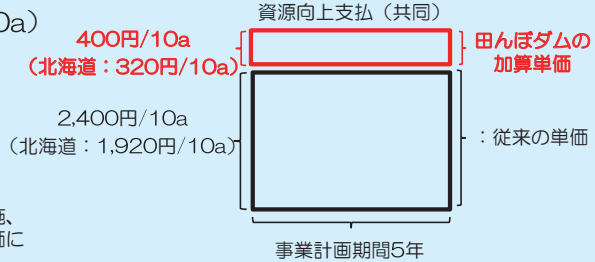
出典：多面的機能支払の実施に関する基本方針(要綱基本方針)(青森県)から抜粋

## 加算措置 ③水田の雨水貯留機能の強化（田んぼダム）を推進する活動への支援

大雨時に河川や水路の水位の急上昇を抑えることで下流域の湛水被害リスクを低減させることを目的に、水田の落水口に流出量を抑制するための排水調整板を設置する等して雨水貯留能力を人為的に高める取組である「田んぼダム」に一定の要件を満たして取り組む場合、資源向上支払（共同）に単価の加算を行います。

資源向上支払（共同）の加算単価（円/10a）

	都府県	北海道
田	400	320



※農地・水保全管理支払の取組を含め5年間以上実施、または長寿命化のための活動に取り組む地区は単価に0.75を乗じた額になります。

※要件を満たす限り、加算措置は次期の事業計画期間においても適用されます。



流出を抑制する落水量調整装置の例



写真：新潟市  
田んぼダム実施

### <加算措置の要件>

#### ①事業計画の作成・変更

- ・市町村が策定する水田貯留機能強化計画に基づき、田んぼダムの実施面積、年度別計画及び位置図を様式第1-3号の事業計画書に記載する必要があります。
- ・農村環境保全活動のうち「水田貯留機能増進・地下水かん養」または多面的機能の増進を図る活動のうち「防災・減災力の強化」のいずれかを活動項目に位置付けて取り組む必要があります。

#### ②実施面積の考え方

事業計画期間中に次のいずれかの条件を満たす必要があります。

- 資源向上支払（共同）の交付を受ける田面積全体のうち5割以上で活動に取り組むこと
- 広域活動組織にあっては、加算措置に取り組む集落毎に、交付を受ける田面積全体のうち5割以上で活動に取り組むこと

### <加算対象面積の考え方>

加算措置の要件①及び②を満たす場合、この加算措置に取り組む初年度から、当該活動を実施する活動組織の対象農用地面積のうち田面積全体を加算対象面積とします。

出典：「令和5年度 高めよう地域協働の力！多面的機能支払交付金のあらまし」（農林水産省）

([https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen\\_siharai-91.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-91.pdf))

を加工して作成



## (2) 農地耕作条件改善事業

農地耕作条件改善事業では、「田んぼダム」の実施に必要な整備を実施することができます。

**ハード事業では、畦畔再構築や落水口の整備ができます。  
ソフト事業では、流出量調整器具の購入や設置状況確認等を実施することができます。**

助成額は、畦畔再構築（農業者自主施工）では95,000円/100m、落水口の整備（農業者自主施工）では30,000円/箇所などとなっていますが、工事内容によって異なります。（令和5年度単価）

事業を実施するには、各種の要件を満たす必要があるため、活用を希望される場合は、土地改良区、市町村、県等の農地整備の担当に御相談ください。

事業概要は、農林水産省ウェブサイトで確認できます。

(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/keiiku/noutiseibi/attach/pdf/index-20.pdf>)

## (3) 農地整備事業等

農地整備事業（農業競争力強化農地整備事業、農地中間管理機構関連農地整備事業）、いわゆる“ほ場整備事業”等では区画整理工事等とあわせて、「田んぼダム」の実施に必要な、畦畔、落水口、流出量調整器具、排水路等の整備を実施することができます。

**水田の区画整理とあわせて、畦畔、落水口、流出量調整器具、排水路等の整備ができます。**

事業を実施するには、各種の要件を満たす必要があるため、活用を希望される場合は、土地改良区、市町村、県等の農地整備の担当に御相談ください。

なお、県は、今後、実施するほ場整備事業では、原則として「田んぼダム」に取り組むこととしています。

事業概要は、農林水産省ウェブサイトで確認できます。

### ① 農業競争力強化農地整備事業

(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/keiiku/noutiseibi/attach/pdf/index-18.pdf>)

### ② 農地中間管理機構関連農地整備事業

(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/keiiku/noutiseibi/attach/pdf/index-19.pdf>)

### 災害復旧事業

24時間雨量が80mm以上など「異常な天然現象」により、田の畦畔が崩れるなど、農地が被災した場合には、国の補助の対象となる災害復旧事業で復旧できる場合があります。

農業者自らの手に負えないほど被災した場合には、市町村に相談して下さい。

## 7 参考文献

名称	編者・著者・発行所	制定(改訂)年月
「田んぼダム」の手引き	農林水産省 農村振興局整備部	令和4年4月
青森県災害時気象資料 前線と低気圧による大雨 (令和4年8月2日～3日)	青森地方気象台	令和4年8月8日
青森県災害時気象資料 北日本に停滞した前線による 大雨(令和4年8月8日～13日)	青森地方気象台	令和4年8月26日
田んぼダムのススメ ～取り組みにあたっての留意事項～	新潟県農地部	
多面的機能支払 活動実践マニュアル7 流域治水で水害に挑む 田んぼダムで守ろう！私たちの地域と農業	一般社団法人 農山漁村文化協会	2021年8月31日
「技術力向上研修会2022 流域治水の推進に向けて」 基調講演「流域治水における田んぼダムの可能性と取 組を支える技術」資料(令和4年11月11日 青森市)	新潟大学農学部 吉川夏樹教授	令和4年11月
自然豊かで活力ある農村地域を将来に引き継ぐために 多面的機能支払制度 令和2年度 活動取組事例集	新潟県農地部	令和3年3月
多面的機能支払の実施に関する基本方針 (要綱基本方針)	青森県	令和4年9月
令和5年度 高めよう地域協働の力！ 多面的機能支払交付金のあらし	農林水産省	令和5年4月

## 8 農村地域の雨水貯留に係る検討会

本マニュアルの作成に当たって、技術的評価等を得ることを目的に「農村地域の雨水貯留に係る検討会」(R4～R5)を設置しました。

(敬称略・五十音順)

氏名	所属・職名	備考
稲葉 正明	蓬田村建設課長	令和4年度
高田 徹	蓬田村建設課長	令和5年度
丸居 篤	国立大学法人弘前大学 農学生命科学部 教授	委員長
森 清秀	蓬田村土地改良区理事長	
森 弘美	生産者(蓬田第一地区協議会会長)	
山本 貴則	青森県農林水産部農村整備課長	



# 「田んぼダム」取組マニュアル (巻末資料)

## 1 流出量調整器具（機能分離型）の種類

### (1) キャップ式

- ア 田んぼダムアタッチ
- イ インサート型堰板

### (2) 立板式

- ア イレタママ
- イ ロート型堰板
- ウ 軽量落水柵

### (3) コーン式

- ア 自在排水筒用オリフィスキャップ
- イ ダブルドレン用排水抑制コーン
- ウ ニューフリードレン用水位調節管コーン形

## 2 「田んぼダム」の支援制度

### (1) 農地耕作条件改善事業

### (2) 農地整備事業等

- ア 農業競争力強化農地整備事業
- イ 農地中間管理機構関連農地整備事業

# 1 流出量調整器具（機能分離型）の種類

## (1) キャップ式

### ア 田んぼダムアタッチ；新潟ニチビ(株)



### 田んぼダムアタッチ (VU150用)

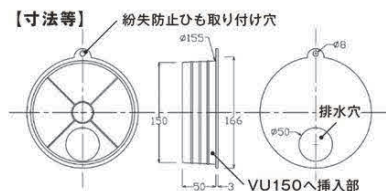
【外観】



【取り付け手順】



【寸法等】



紛失防止のため、ひもを取り付け穴に結びます。

VU150管内に田んぼダムアタッチの「挿入部」を挿入します。  
※VU150の内径によって入れやすさが異なります。

取り外す時は、バールなどを使っていただくスムーズです。

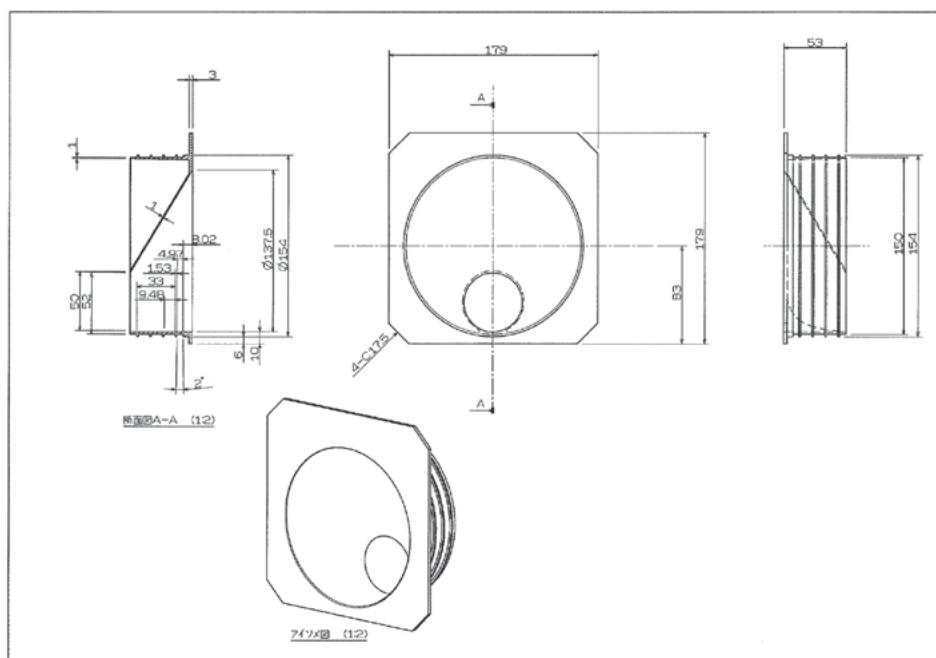
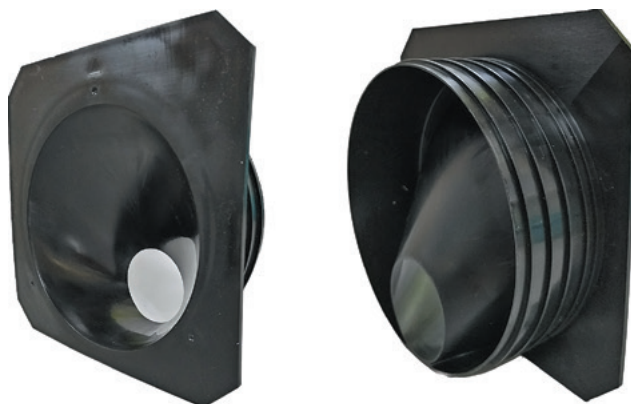
ひもは排水樹の側に括り付けておくと、紛失の防止になります。

〈型番〉 TDAT-VU150  
 〈材質〉 低密度ポリエチレン  
 〈適用管〉 硬質塩化ビニル管 VU管 呼び径150mm用

- ・ V U 150 専用です。
- ・ 落水口と排水管（V U 150）の施工状況によっては取り付けができない場合や一部制約が生じる場合があります。
- ・ V U 150の内径には径大・径小があります。径小の場合には挿入部が飛び出したの使用になる場合があります、径大の場合には別途推奨のリングを入手してご使用をお勧めします。
- ・ 参考製品価格：3,000円

出典：新潟ニチビ(株)ウェブサイト (<http://niigata-nichibi.co.jp/>)

イ インサート型堰板；東北興商(株)

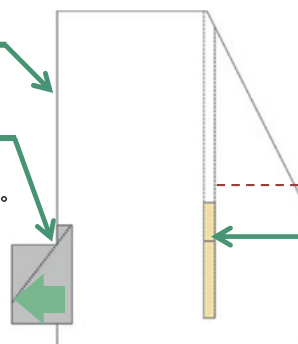


落水柵

インサート型堰板(田んぼダム堰板)

コンクリート落水柵に接続されている、塩ビ管(UV150)の排水パイプに設置可能です。  
※普段は取り付けただまにします。(最重要)

排水パイプを経て  
排水路・用水路へ



木製堰板をお好みに合わせて  
常水位を調整します。

木製堰板

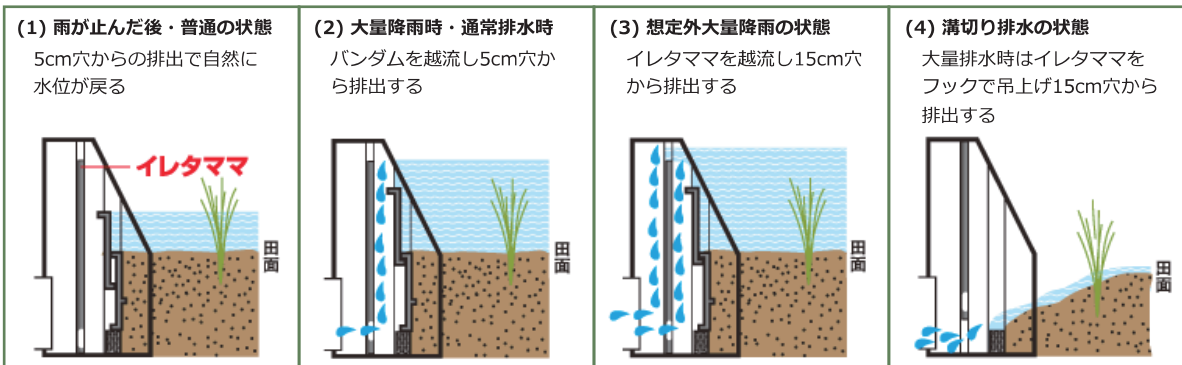
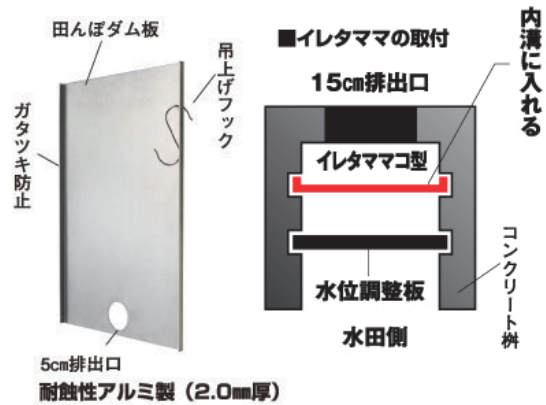
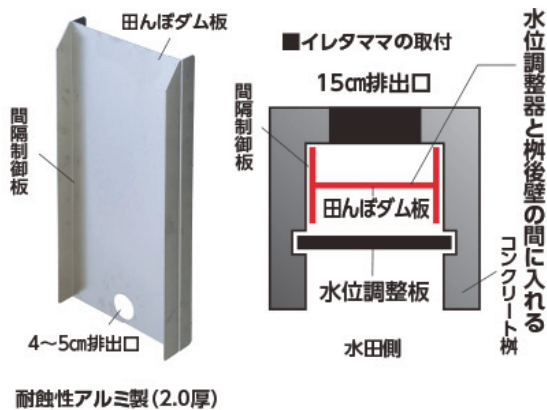
木製なので、高さを変えられます。

- ・既存の落水口に取り付けるだけで貯留効果を発揮します。
- ・ゴミが詰まりにくい。
- ・軽くて丈夫なポリエチレン製。
- ・参考製品価格：3,600円

出典：東北興商(株)ウェブサイト (<http://www.tohoku-koushou.com/index.html>)

(2) 立板式

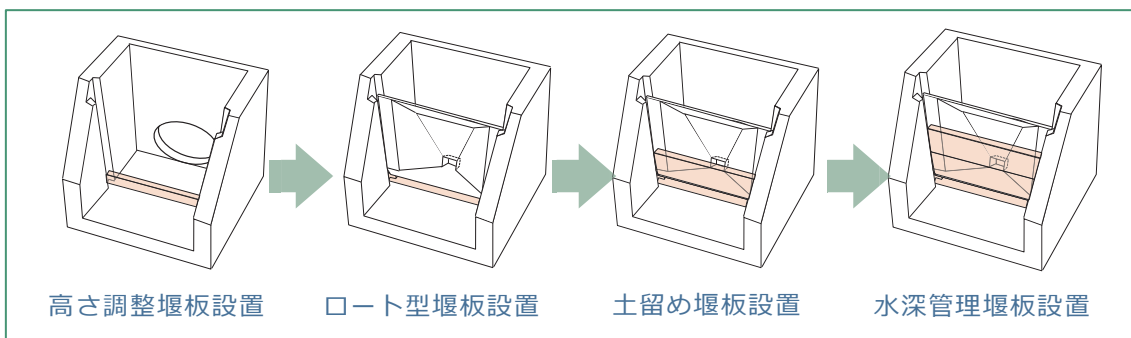
ア イレタママ；アゼックス㈱



- ・ H型とコ型があり、下部に5cmの穴があります。
- ・ サイズはオーダーメイドで既存のコンクリート柵に合わせて製作します。
- ・ 入れたままで良いので、降雨時の水管理が不要で、不在者・非協力者の不実施がありません。
- ・ 耐久性に富むので、広域な面積を段階的に田んぼダム網を構築できます。
- ・ 部材が薄くて強度があり、耐久性、耐候性があります。
- ・ 参考製品価格：5千～1万円前後

出典：アゼックス㈱ウェブサイト (<https://www.azex-k.com/>)

イ ロート型堰板；東北興商(株)

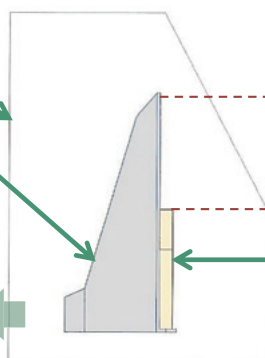


落水桝

ロート型堰板

コンクリート落水桝、ドレンマスの両方に設置できます。  
※管段は取り付けただままにします。(最重要)

排水パイプを経て  
排水路・用水路へ



雨水時にはここまで保水する  
田んぼダムとして機能します。

木製堰板をお好みに合わせて  
常水位を調整します。

木製堰板

木製なので、高さを変えられます。  
大雨の際に常時排水穴よりゆっくり流れます。

- ・既存の落水口に合わせて加工、取り付けるだけで貯留効果を発揮します。
- ・排水口（漏斗の先）を切断することで排水量を大きくできます。
- ・ゴミが詰まりにくい。
- ・軽くて丈夫なポリエチレン製。
- ・参考製品価格：3,600円

出典：東北興商(株)ウェブサイト (<http://www.tohoku-koushou.com/index.html>)



ウ 軽量落水柵（堰板とセット販売）；東北興商(株)

前面堰板の組み合わせ



【小】を使用

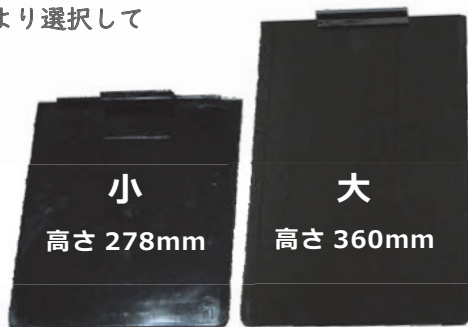
【大】を使用

田んぼへの設置



前面堰板

前面堰板は、ポリカーボネイト製の小（高さ 278mm）と  
 アクリル板製の大（高さ 360mm）の 2 種類があります。  
 常時排水位により選択して  
 御使用下さい。



木製堰板



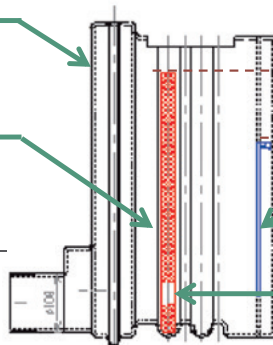
軽量落水柵

側面の波型と凹凸が、  
 土との密着と止水を高めます。

木製堰板（田んぼダム堰板）

木製なので、高さや常時配水径を  
 変えられます。大雨の際に常時排水穴より  
 ゆっくり流れます。  
 ※普段は取り付けただまにします。（最重要）

排水パイプを経て  
 排水路・用水路へ



雨水時にはここまで保水する  
 田んぼダムとして機能します。

前面堰板を上下させて常水位を調整します。

前面堰板

耕作用日常管理の水位調整堰板です。  
 田んぼダムとしては、操作しません。

常時排水穴  
 （水理計算により径 40mm）

- ・ 落水柵と前面堰板（大・小のいずれか）と木製堰板がセットになった製品です。
- ・ 水位調整用の前面堰板と、大雨時の貯水用木製堰板の 2 枚で機能分離されます。
- ・ 参考製品価格：25,000円

出典：東北興商(株)ウェブサイト (<http://www.tohoku-koushou.com/index.html>)

(3) コーン式

ア 自在排水筒用オリフスキャップ；中部美化企業(株)



落水口「自在排水筒」



ゴムリングにより、高い水密性を保ちます。



内円筒をスライドすることで、水位を任意の位置に調整することが可能です。

水尻に設置することで、水位を調整することができます。難しい操作はなく、直観的に操作が可能です。また、オプションのオリフスキャップを装着することにより、効果的な田んぼダムの取り組みができます。

- ・ 落水口が「自在排水筒」の場合のみ、オプションで取り付けできます。
- ・ コーン状で上端 15cm から下端 4 cm に絞られている形状。加工により10cmまで広げる（流出量を調整する）ことができる。
- ・ 参考製品価格：3,000円（自在排水筒本体は別途：9,500円程度）

出典：中部美化企業(株)製品カタログ

イ ダブルドレン用排水抑制コーン；スイコー(株)

●排水抑制  
コーン



セット例



ダブルドレンにセット

落水口「ダブルドレン」



- ・落水口が「ダブルドレン」の場合のみ、オプションで取り付けできます。
- ・コーン状で上端 15cm から下端 5 cm に絞られている形状。
- ・参考製品価格：5,600円（ダブルドレン本体は別途：13,000円程度）

出典：スイコー(株)製品カタログ及び東北スイコー(株)ウェブサイト  
(<http://www.t-suiko.jp/>)

ウ ニューフールドレーン150A（田んぼダム用水位調節管付）；新潟ニチビ(株)

ニューフールドレーン150A対応

# 田んぼダム用水位調節管 「コーン形」

兼雨時に雨水の一部を田んぼに貯水する機能を高めました。  
下流域の河川の増水を遅らせ、冠水被害を抑える効果が得られます。

水が流れていく様子

渦を巻いて水を放流します

排水量を抑制し、水位を自在にセット

**設置前** 大量の水を放流

通常の調節管

**設置後** 少量ずつ水を放流

田んぼダム用調節管(コーン形)

形状および寸法

形名	記号	L1	L2	A	ℓ
CNT-S(標準形)		345	305		
CNT-L10(+10cm)		445	405	50	230
CNT-L15(+15cm)		495	455		

(単位: mm)

落水口「ニューフールドレーン150A」



- ・ 落水口「ニューフールドレーン150A」と「田んぼダム用水位調節管コーン形」がセットになった製品です。
- ・ コーン状で上端 15cm から下端 5cm に絞られている形状。
- ・ 参考製品価格：19,700円

出典：新潟ニチビ(株)ウェブサイト (<http://niigata-nichibi.co.jp/>)

## 2 「田んぼダム」の支援制度

### (1) 農地耕作条件改善事業

#### 農地耕作条件改善事業

【令和5年度予算概算決定額 20,043 (24,790) 百万円】

##### <対策のポイント>

農地中間管理機構による担い手への農地集積等に向けて、地域の多様なニーズに応じたきめ細かな耕作条件への転換や営農定着、麦・大豆の増産に必要な取組等をハードソフトを組み合わせて支援します。

##### <事業目標>

全農地面積に占める担い手が利用する面積の割合の増加（8割【令和5年度まで】）

##### <事業の内容>

1. 地域内農地集積型  
畦畔除去による区画拡大や暗渠排水等のきめ細かな耕作条件の改善を支援します。
2. 高収益作物転換型  
基盤整備と一体的に行う輪作体系の検討や実証展示ほ場の運営、高収益作物への転換に向けた計画策定から高付加価値農業施設の設置など営農定着に必要な取組を支援します。
3. スマート農業導入推進型  
基盤整備と一体的に行うGNSS基地局の設置等、スマート農業の導入について支援します。
4. 病害虫対策型  
病害虫の発生予防・まん延防止に資する農地の土層改良や排水対策等を支援します。
5. 水田貯留機能向上型  
水田の雨水貯留機能を向上する「田んぼダム」の実施に必要な基盤整備を支援します。
6. 土地利用調整型  
多様で持続的かつ計画的な農地利用のためのゾーニングに必要な交換分合や基盤整備を支援します。

※土層改良にバイオ炭を使用することが可能（1～6の事業）

※整備農地周辺の未整備農地を整備する場合、農地整備・集約推進費の活用が可能（1、2の事業）

※高収益作物の転換割合に応じ、高収益作物導入促進費の活用が可能（2の事業）  
（なお、事業実施後に水田活用の直接支払交付金の対象とならない農地となる場合、高収益作物導入促進費の活用が可能）

- 【実施要件】 ① 事業対象地域：農振農用地のうち農地中間管理事業を重点的に実施する区域等  
② 総事業費200万円以上、③ 農業者数2名以上 等

##### <事業の流れ>



※ 下線部は拡充内容

【お問い合わせ先】農村振興局農地資源課（03-6744-2208）

##### <事業イメージ>

きめ細かな耕作条件改善の支援



高収益作物への転換に向けた取組支援



スマート農業導入の支援



「田んぼダム」の取組支援



出典：「農地の整備」（農林水産省）

(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/keiiku/noutiseibi/attach/pdf/index-20.pdf>) を加工して作成

(2) 農地整備事業等

農業農村整備事業における「田んぼダム」の取組の推進

<対策のポイント>

水田の落水口に流出量を抑制する堰板等をとりつけ、水田に降った雨を一時的に貯留することで、実施する地域や下流域の河川や水路における水位の急上昇を抑え、浸水被害リスクを低減させる「田んぼダム」の取組を推進します。

<事業の内容>

1. 「田んぼダム」の取組に対する支援

「田んぼダム」の取組を推進するため、調整活動や畦畔再構築等を定額で支援します。  
【主な助成単価】 畦畔築立 14万円/100m、排水口整備 4万5千円/箇所（令和4年度単価）

【対象事業】

農業競争力強化農地整備事業、農地中間管理機構関連農地整備事業、  
営農用地再編整備事業、農地耕作条件改善事業

2. 「田んぼダム」の効果発現に向けた支援

「田んぼダム」の取組地域において、浸水による営農への影響を最小限にし、営農再開に向けて速やかな排水を行うため、基幹から末端までの農業水利施設の一体的な整備等を支援します。

【対象事業】

水利施設整備事業（流域治水推進型）

【実施要件】

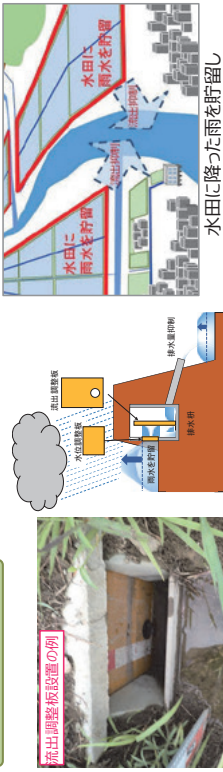
- ・ 「田んぼダム」の取組等を定めた計画を策定すること
- ・ 受益面積の5割以上で「田んぼダム」の取組が実施又は実施見込みであること

【対象地域】

- ①流域治水プロジェクトが策定・公表された水系又は当該年度中に策定・公表される見込みの水系で実施するもの
- ②治水協定の締結が完了している水系又は当該年度中に締結される見込みの水系で実施するもの
- ③地方自治体が策定・締結する防災に係る計画・協定に位置づけられたもの又は当該年度中に位置づけられる見込みのもの

<事業イメージ>

「田んぼダム」の取組



「田んぼダム」の導入・効果発現に向けた支援



流出調整板設置の例

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

畦畔が壊れ、容易に雨水が流出

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

水田に降った雨を貯留し、水田からの流出を抑制

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

排水路の整備

ア 農業競争力強化農地整備事業

農業競争力強化基盤整備事業のうち  
**農業競争力強化農地整備事業〈公共〉**

【令和5年度予算概算決定額 63,319 (62,717) 百万円の内数】  
 (令和4年度補正予算額 81,975百万円の内数)

＜対策のポイント＞

農地中間管理機構等による担い手への農地集積・集約化や、生産効率の向上、農業の高付加価値化を図る農地の大区画化・汎用化など、農地の整備を推進します。

＜事業目標＞

- 全農地面積に占める担い手が利用する面積の割合の増加（8割【令和5年度まで】）
- 基盤整備完了地区において、事業実施前後で高収益作物の生産額が一定程度増加している地区の割合（約8割以上【令和7年度まで】）

＜事業の内容＞

- 1. 農地整備事業**  
 地域農業の展開方向、生産基盤の状況等を踏まえつつ、必要な生産基盤及び営農環境の整備と経営体の育成を一体的に実施
- 2. 草地畜産基盤整備事業**  
 畜産経営規模の拡大や畜産主産地の形成に必要な草地の基盤整備等を実施
- 3. 農業基盤整備促進事業**  
 畦畔除去、暗渠排水等、地域の実情に応じたきめ細かな農地の整備を実施

※ 実施計画等策定事業

農地整備事業の実施に必要な実施計画や換地計画を策定  
 スマート農業に取り組む地区は最大4年間、定額助成も可能  
 (定額助成は令和7年度採択分まで)

※ 土層改良にバイオ炭を使用することが可能（1、3の事業）

※ 下線部は拡充内容

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

地域全体の一体的な農地整備によって、労働・土地生産性が向上し、併せて担い手の農地集積や高収益作物の導入を図ることで、競争力ある農業の実現に寄与します。



(事業前) 小規模で不整形な農地



(事業後) 大区画化・整形した農地



暗渠の整備により水田の汎用性の向上を図り、収益性の高い作物の作付を可能にします。

出典：「農地の整備」（農林水産省）

(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/keiiku/noutiseibi/attach/pdf/index-18.pdf>)

【お問い合わせ先】 農村振興局農地資源課 (03-6744-2208)

イ 農村中間管理機構関連農地整備事業

農業競争力強化基盤整備事業のうち  
**農地中間管理機構関連農地整備事業** <公共> 【令和5年度予算概算決定額 63,319 (62,717) 百万円の内数】  
 (令和4年度補正予算額 81,975百万円の内数)

<対策のポイント>

農地中間管理機構への貸出しが増加する中、担い手は整備されていない農地を借り受けず、農地の出し手は基盤整備を行う用意がないため、担い手への農地集積が進まないおそれがあり、このため、**機構が借り入れられている農地等で、農業者の申請・同意・費用負担によらず、都道府県が行う基盤整備**を支援します。

<事業目標>

全農地面積に占める担い手が利用する面積の割合の増加 (8割 [令和5年度まで])

<事業の内容>

1. 農地整備事業

【対象工種】区画整理、暗渠排水、土層改良、農業用排水施設等  
 【附帯事業】機構集積推進事業

(推進費として事業費の12.5%等を全額国費で交付)

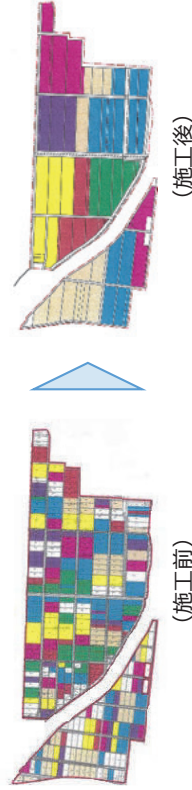
- ※ 転用防止措置：所有者が農地中間管理権を解除した場合等には特別徴収金を徴収 等
- ※ 土層改良にバイオ炭を使用することが可能

2. 実施計画等策定事業

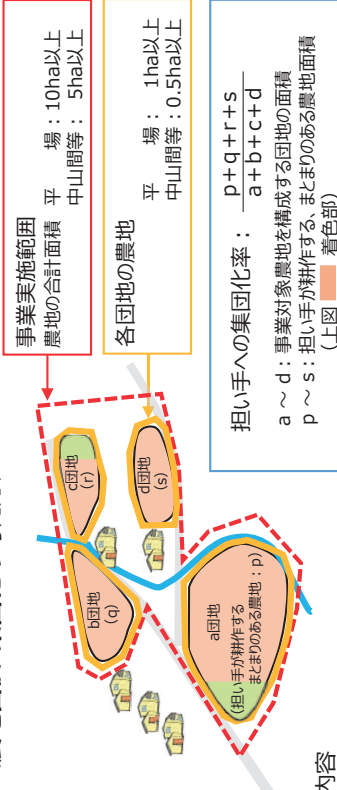
農地整備事業の実施に必要な実施計画や換地計画を策定  
 スマート農業に取り組む地区は最大4年間、定額助成も可能  
 (定額助成は令和7年度採択分まで)

<事業イメージ>

機構が借り受けている、まとまりのある農地等を対象に区画整理等を実施。  
 (機構を通じて、担い手は利用しやすい農地を長期・安定的に借り受けることが可能。)



<農地面積・集団化の考え方>



【実施要件】

- 事業実施区域：以下の①又は②の期間の合計が15年以上の農地  
 ①機構が借り入れられている農地の農地中間管理権の期間  
 ②機構が農業経営又は農作業の委託を受けている期間
- 事業対象農地面積：10ha以上(中山間地域は5ha以上)  
 (各団地は1ha以上(中山間地域は0.5ha以上)のまとまりのある農地)
- 集団化要件：全ての事業施行区域内農用地が担い手に集積され、事業完了後5年以内に8割以上を担い手に集団化
- 収益性要件：事業完了後5年以内(果樹等は10年以内)に販売額20%以上向上又は生産コスト20%以上削減 等

<事業の流れ>



※ 下線部は拡充内容

※ 農地整備事業の場合

【お問い合わせ先】 農村振興局農地資源課 (03-6744-2208)

出典：「農地の整備」(農林水産省)

(<https://www.maff.go.jp/j/nousin/keiiku/noutiseibi/attach/pdf/index-19.pdf>)





## 問い合わせ先

### ○「田んぼダム」等の実施について

問い合わせ先	対象市町村
東青地域県民局 地域農林水産部 農村計画課 017-734-9992	青森市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町
中南地域県民局 地域農林水産部 農村計画課 0172-33-6054	弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村
三八地域県民局 地域農林水産部 農村計画課 0178-27-1289	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村
西北地域県民局 地域農林水産部 農村計画課 0173-35-7172	五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、板柳町、鶴田町、中泊町
上北地域県民局 地域農林水産部 農村計画課 0176-23-5317	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町
下北地域県民局 地域農林水産部 農村整備課 0175-22-3225	むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村
青森県 農林水産部 農村整備課 生産基盤整備グループ 017-734-9554	

### ○流域治水について（流域治水、県管理の河川等）

問い合わせ先	対象市町村
東青地域県民局 地域整備部 河川砂防施設課 017-728-0293	青森市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町
中南地域県民局 地域整備部 河川砂防施設課 0172-34-1283	弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村
三八地域県民局 地域整備部 河川砂防施設課 0178-27-5491	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村
西北地域県民局 地域整備部 河川砂防施設課 0173-35-2107	五所川原市、つがる市、板柳町、鶴田町、中泊町
西北地域県民局 地域整備部 鱒ヶ沢道路河川事務所 0173-72-3135	鱒ヶ沢町、深浦町
上北地域県民局 地域整備部 河川砂防施設課 0176-23-4350	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町
下北地域県民局 地域整備部 河川砂防施設課 0175-22-8581	むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村
青森県 県土整備部 河川砂防課 企画・防災グループ 017-734-9662	

「田んぼダム」取組マニュアルをホームページに掲載しました。

